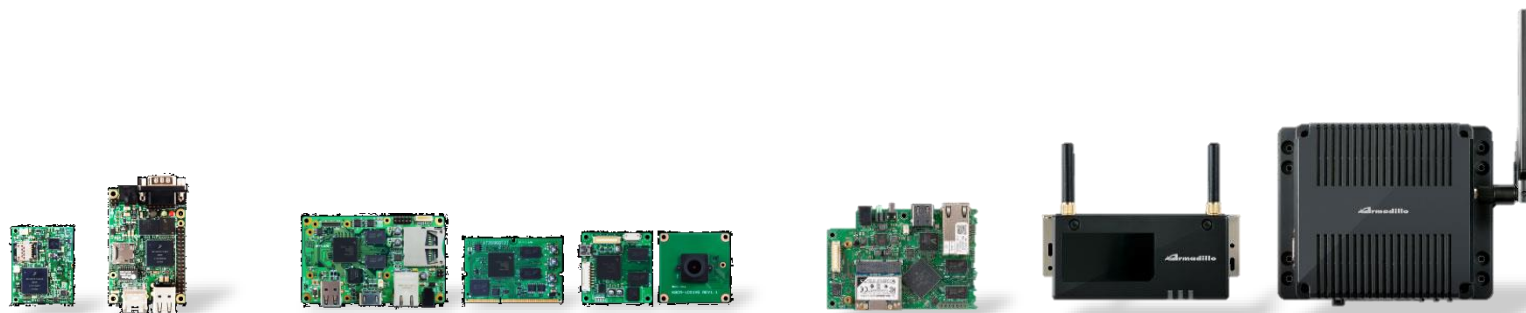




- **第1部 Armadilloとは**
- 第2部 Armadillo-IoT G3が動作する仕組み
- 第3部 Armadillo-IoTゲートウェイを使用する
- 第4部 アプリケーションを作成する
- 第5部 外部機器との連携
- 第6部 クラウドとの連携
- 第7部 製品運用に向けての設定
- 第8部 量産に向けて
- 第9部 参考情報

# Armadilloとは

---

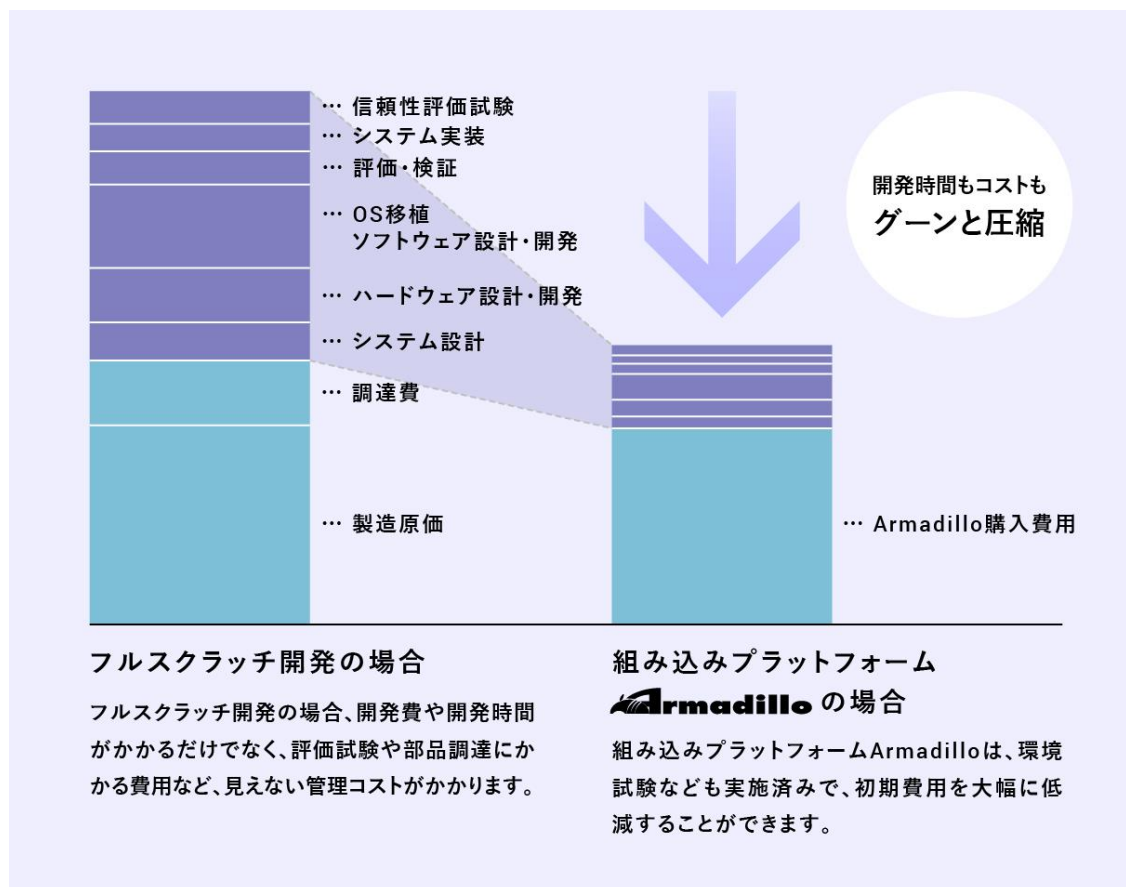


- 多様な用途に使える、量産対応のARM+Linux 組み込みプラットフォーム
  - 試作開発から量産まで一つのプラットフォームで
- 組み込みプラットフォームとは
  - CPUボード
  - Linux OS
  - デバイスドライバ
  - 開発環境
  - ミドルウェア
  - 拡張ボードやオプション

- よく使うインターフェースを搭載
  - LAN、USB、シリアル、LCD、I2C、SPI
- 標準OSとしてLinuxを採用
  - オープンソースソフトウェアの活用が可能
- 耐環境性
  - 動作温度範囲-20～70℃と、環境評価試験の実施
- 長期供給
  - 搭載部品の選定と、部品変更通知の仕組み
- 小型設計
  - 製品に組み込みやすい小型の基板

# Armadilloを使用するメリット

## ・製品化までの時間・コストを大幅に削減



- **利用者側の課題**
  - やって見ないとわからない
  - 効果が予測しづらい
  - 費用に見合った効果がでるのかわからない
- **システム開発者側の課題**
  - **必要とされる技術範囲が広い**
    - センサーや、GW等のハードウェア
    - 組み込みソフトウェア
    - ネットワーク
    - サーバサイドソフトウェア

- **利用者側、システム開発側にとっても課題が多い**
  - 導入の効果が不明
  - システムに必要な物、技術が不明
  
- **課題が多いため、フェーズを分けて進める**
  - スモールスタートで仮説検証フェーズ
  - 本番導入に向けたシステム開発フェーズ
  - 設置デバイスの保守運用フェーズ



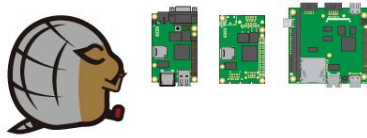
- IoTサービスの費用対効果の算出は困難
  - 実際にどのようなデータがとられるかは取ってみないとわからない
- システムの導入効果の検証を行うために、スモールスタートが重要
  - IoTサービスを実現するための技術検証
  - 費用に見合った価値ある情報が生み出せるかの効果検証
  - 早期に利用者に利用してもらうことでの、利用イメージなどのすり合わせ

- 
- 仮説検証フェーズの結果をもとに、本番環境を開発
  - 本番環境とは異なり、長期でサービスを運用していくための開発が重要
    - 継続的に安定した運用ができるシステム開発
    - 規模を拡大するための拡張性
    - システムの保守、運用も踏まえたシステム構成

- 
- システム開発後、実際に運用されるシステムの保守、運用
  - システムをうまく稼働していくための仕組みが重要
    - デバイスの状態監視、設定変更、修理/交換
    - 新規デバイスの追加対応
    - システム状態の監視
    - 蓄積データの運用
    - データ収集/活用

# 試作開発から、量産製造までの各ステージをサポート

選べて安心／試せて安心



## 企画・検討

- ソフトウェアをオープンソース提供、開発環境も無償公開
- 画像処理からデータベースまで無償で評価できるミドルウェア
- 1台から購入可能な開発セット

聞けて安心／情報が多くて安心



## 試作・開発・設計

- 開発者向けWebフォーラムを開設
- 開発セミナーを開催
- 開発のTipsをWeb公開
- 信頼性評価試験データを公開
- メールマガジンで情報提供

実績があって安心／長く使えて安心



機器にそのまま組み込んで製品化

## 量産・製造

- 長期供給・安心の国内生産
- 製品保証
- 故障解析サービス
- ROM書き込みサービス
- PCN/EOL/その他の変更をメールで通知

# Armadilloシリーズのラインナップ

## 組み込みプラットフォーム



Armadillo-640



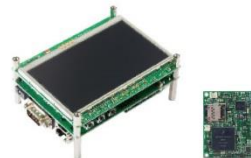
Armadillo-X1



Armadillo-810



Armadillo-840



Armadillo-410



Armadillo-420



Armadillo-440



Armadillo-460

## IoTゲートウェイ



Armadillo-IoT G3L



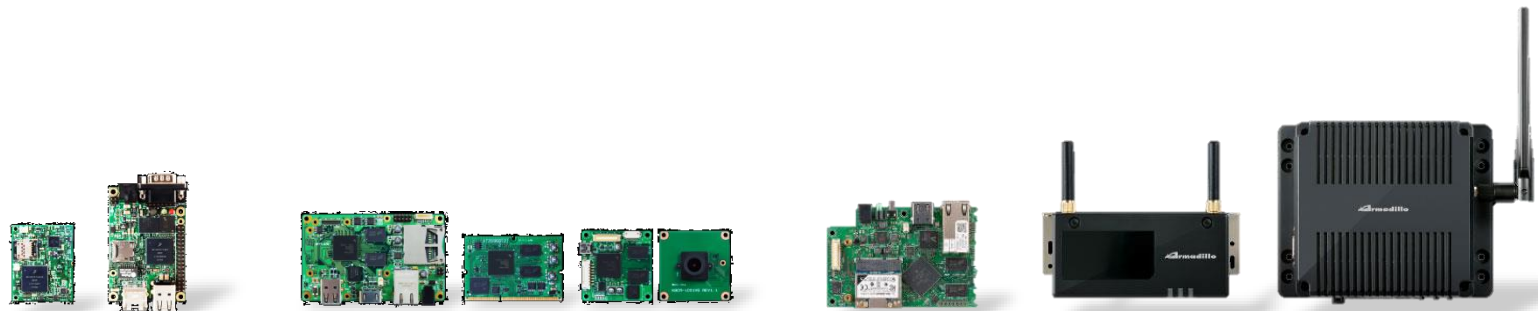
Armadillo-IoT G3



Armadillo-IoT G2

# Armadillo-IoTゲートウェイ とは

---



# Armadillo-IoTゲートウェイとは

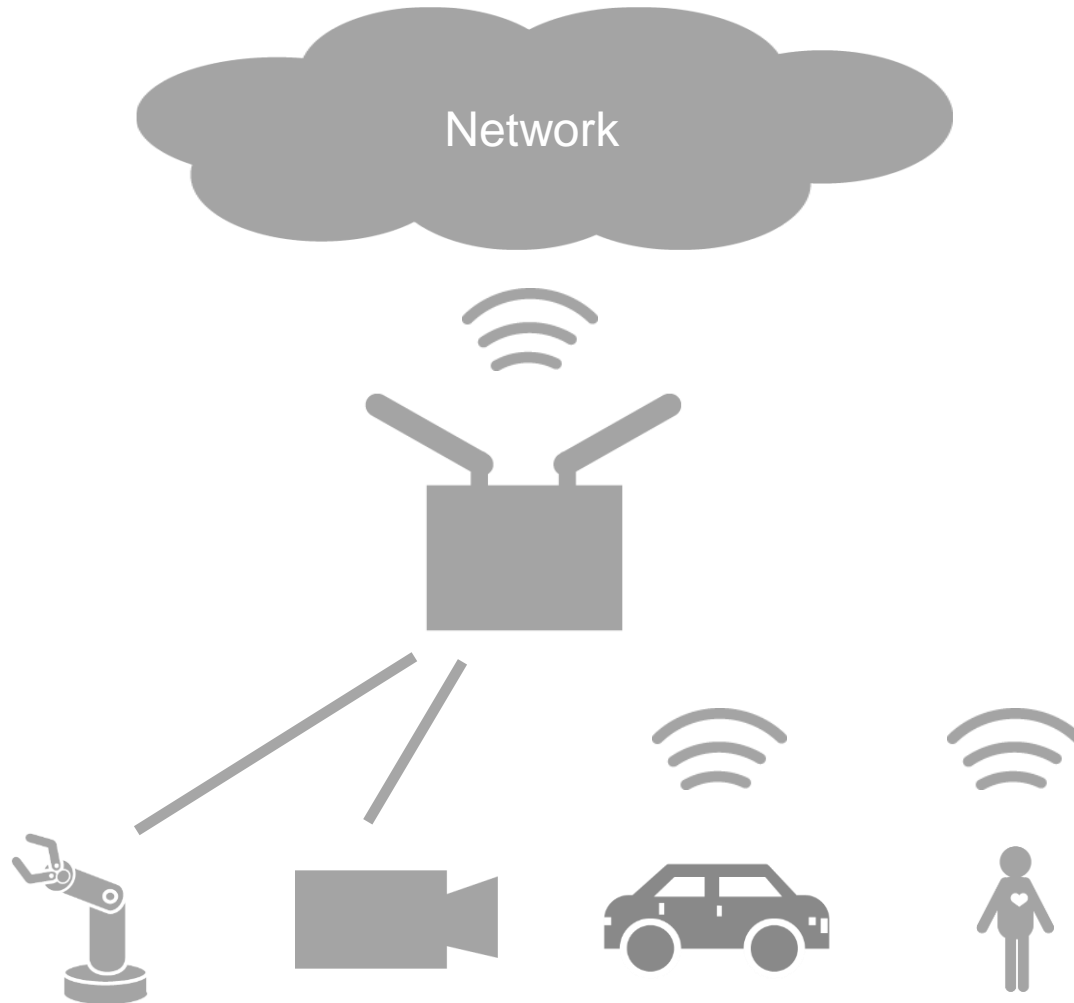
Armadillo-IoT ゲートウェイは、センサを搭載した機器・設備のインターネット接続を仲介する「IoTゲートウェイ」を中心に、モバイル回線(3G/LTE)経由でのクラウドプラットフォーム接続(パートナーから提供)までをカバーするIoT(Internet of Things)向けデバイスプラットフォームです。

Linux採用・モバイル通信対応 IoTゲートウェイ  
**Armadillo-IoT ゲートウェイ G3**



# Armadillo-IoTとは

---





- IoTシステムの構築を支える「IoTプラットフォーム」
  - センサとインターネットの接続を仲介する「ゲートウェイ」
- ゲートウェイを簡単に構築する仕組み
  - 筐体入りでそのまま使える
  - オプション構成により多様なI/Fに対応可能
  - 自由にアプリを作成可能
  - クラウドサービスと親和性の高いソフトウェア搭載